

鎌倉市由比ヶ浜南遺跡 10・14・86 号墓出土の中世人骨

松下孝幸*・松下真実**

【キーワード】：神奈川県、中世人骨、集骨、頭蓋、成人骨、幼小児骨、刀創

はじめに

神奈川県鎌倉市由比ヶ浜四丁目 1101 番 2 外に所在する由比ヶ浜南遺跡は、県営地下駐車場建設に伴って発掘調査が実施された遺跡である。1995(平成7)年3月から1997(平成9)年9月にかけての発掘調査で、埋葬人骨遺構と集骨遺構とが検出され数千体の人骨が出土した。集骨された人骨の体数は3108体をカウントしたが、正確な体数は不明であり、少なくとも3108体は存在するが、実数はおそらく4000体に達すると思われる。集骨遺構のうち、158号墓、5318号墓、204B号墓、123号墓から出土した人骨については人骨所見などをすでに報告した(松下、2002)。その他の遺構から出土した人骨については、復元作業に時間がかかり、人骨所見の報告ができていない。残りの遺構から出土した人骨の整理作業を現在も継続している。今後、復元が終了したものについて順次報告していく予定で作業を進めており、9号墓出土人骨については2018年に報告した(松下・他、2018)。

今回は、整理作業や復元作業、計測が終わった10・14・86号墓出土人骨について、体数や人骨所見を報告する。

資 料

本稿は10・14・86号墓から検出された人骨所見の報告である。人骨は集骨遺構から検出されたもので、一次葬の様相を呈するものは存在しない。人骨を取り上げる際に、番号がつけられているが、人骨を解剖学的に精査して、体数などを検討した。人骨番号や性別、年齢などは表2に示した。なお、本人骨は考古学的所見から、中世に属する人骨である。

≪10号墓出土人骨≫

10号墓から検出された人骨は、頭蓋、頸椎、上腕骨、脛骨などであるが、四肢骨はごくわずかである。また、成人頭蓋は5体分で、幼児の頭蓋は1体分である。上腕骨は幼児の上腕骨で、幼児の頭蓋とこの上腕骨は同一個体の可能性が強いので、10号墓から検出された人骨の体数は成人骨5体(男3、女2)、幼児骨1体の合計6体である。

≪14号墓出土人骨≫

14号墓から検出された人骨は、頭蓋と四肢骨、躯幹骨であるが、頭蓋の数が最も多く、14体分確認できた。四肢骨、躯幹骨については、左側寛骨が2体分、右側大腿骨が3体分のほかに、1体分の椎骨、肋骨である。そのほかに、未成人の左側寛骨、仙骨、左側大腿骨、椎骨が認められた。これらは恐らく同一個体と思われる。従って、頭蓋は14体分(男6、女4、幼小児4)、四肢骨は3体分(男2、未成人1)で、14号墓から出土した人骨の数は、頭蓋の数から成人骨10体(男6、女4)、幼児骨4

体の合計 14 体である。

◀ 86 号墓出土人骨 ▶

86 号墓から検出された人骨は、頭蓋と四肢骨であるが、頭蓋の量が多い。成人頭蓋は 1 体分の頭蓋冠のほかに 2 体分の右側頭頂骨と 1 体分の後頭骨である。従って頭頂骨の数から成人頭蓋は 3 体分である (男 1、性別不明 2)。成人頭蓋のほかに幼児の頭蓋が 3 体分存在するが、この 3 体のほかに分離した後頭骨のみが 1 点存在する。3 体の頭蓋には後頭骨が存在するので、この後頭骨を含めると、幼児頭蓋は 4 体となる。すなわち、頭蓋の数は、成人骨 3 体 (男 1、性別不明 2)、幼児骨 4 体の合計 7 体ということになる。

一方、四肢骨はすべて成人の四肢骨で、橈骨と尺骨がそれぞれ 1 点ずつ、大腿骨は右側が 3 点、左側が 2 点、左右対になっているのが 1 点、合計 6 体分 (男 4、女 2) 存在する。脛骨は 2 点で、2 体分 (男 2)、腓骨は 2 点で 2 体分 (男 1、女 1) 存在する。

従って、86 号墓から出土した人骨の数は、頭蓋と四肢骨の数から、成人骨 6 体分 (男 4、女 2)、幼児骨 4 体の合計 10 体ということになる。

計測方法は、Martin-Saller(1957)によったが、脛骨の横径はオリビエの方法 (前縁がノギスの針の中央に位置するようにして計測) で計測し、鼻根部については鈴木 (1963) と松下ら (1983) の方法で計測した。なお、年齢区分を表 3 に示した。

表 1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成人			幼児	合計
	男性	女性	不明		
10号墓	3	2	0	1	6
14号墓	6	4	0	4	14
86号墓	4	2	0	4	10
合計	13	8	0	9	30

表 3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

	年齢区分	年齢
未成人	乳児	1 歳未満
	幼児	1 歳～ 5 歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6 歳～ 15 歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16 歳～ 20 歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21 歳～ 39 歳 (40 歳未満)
	熟年	40 歳～ 59 歳 (60 歳未満)
	老年	60 歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第 14 次発掘調査報告書 (1996) を参照されたい。

所 見

各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

1. 10号墓出土人骨

1) 10-SK-1 (女性・壮年) (取り上げ番号: 10-2)

左側頭頂骨、左側側頭骨、後頭骨が残存していたに過ぎない。骨壁は薄い。矢状縫合とラムダ縫合の観察ができた。両縫合とも内外両板は開離している。外後頭隆起の発達は見られない。乳様突起は小さそうである。左側外耳道の観察ができたが、骨腫は見られない。骨壁が薄く、外後頭隆起の発達は見られないことから、性別を女性と推定した。年齢は観察できた矢状縫合とラムダ縫合が内外両板とも開離していることから、壮年と思われる。

2) 10-SK- 2 (女性・壮年) (取り上げ番号: 10-4)

後頭部と前頭骨が残存していた。骨壁は薄い。矢状縫合とラムダ縫合の観察ができた。両縫合とも内外両板は開離している。外後頭隆起の発達は弱く、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも見られない。また、眉上弓の隆起もきわめて弱い。

外後頭隆起の発達は弱く、乳様突起は小さく、眉上弓の隆起もほとんど認められないことから、性別を女性と推定した。年齢は観察できた矢状縫合とラムダ縫合が内外両板とも開離していることから、壮年と思われる。

3) 10-SK-3 (男性・壮年) (取り上げ番号: 10-5)

(1) 脳頭蓋

ほぼ完全である。骨壁はやや厚く、外後頭隆起の発達は良好で、乳様突起も大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側と認められない。三主縫合の観察ができたが、三主縫合とも内板両板は開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 191mm、頭蓋最大幅は 137mm で、頭蓋長幅示数は 71.73 となり、頭型は長頭型 (dolichokran) に属している。また、頭蓋水平周は 528mm、横弧長は (313)mm である。

(2) 顔面頭蓋

下顎骨と左側の頬骨弓を欠損している以外は完全である。眉上弓の隆起は強く、鼻根部は扁平である。頬骨は外側へ張り出し、顔の幅径は広い。

顔面頭蓋の計測値は、頬骨弓幅が $[69 \times 2 = 138]$ mm、顔高は 111mm、上顔高は 66mm で、顔示数は $[80.43]$ (K)、上顔示数は $[47.43]$ (K) となり、顔面には著しい低・広顔傾向が認められる。

眼窩幅は 50mm(右)、47mm(左)、眼窩高は 32mm(右)、34mm(左) で、眼窩示数は 64.00(右)、72.34(左) となり、両側とも低眼窩 (chamaekonch) に属している。

鼻幅は 26mm、鼻高は 52mm で、鼻示数は 50.00 となり、中鼻 (mesorrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 16mm、両眼窩幅は 105mm で、眼窩間示数は 15.24 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅が狭い。前頭突起水平傾斜角は 88 度を示し、右側の前頭突起の向きは矢

状方向である。

側面角は、全側面角が 83 度、鼻側面角が 85 度、歯槽側面角は 72 度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径は低く、下顎枝は幅広く、下顎切痕はやや深い。下顎角は外反し、咬筋粗面の発達も良好である。

(3) 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8
⑧ 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 ⑧

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の 2 度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。

(4) 性別・年齢

外後頭隆起の発達は良好であることから、性別を男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板両板が開離していることから、壮年と思われる。

4) 10-SK-4（男性・壮年）（取り上げ番号：10-6）

(1) 脳頭蓋

前頭骨と左側側頭骨のそれぞれ一部を欠損している以外はほぼ完全である。骨壁はやや厚く、頑丈である。外後頭隆起の発達はあまりよくないが、乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合の観察ができたが、三主縫合とも内板両板は開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 188mm、頭蓋最大幅は 138mm で、頭蓋長幅示数は 73.40 となり、頭型は長頭型 (dolichokran) に属している。また、頭蓋水平周は 523mm、横弧長は 324mm である。

(2) 顔面頭蓋

鼻骨と左側の頬骨、両側の頬骨弓を欠損しているが、遺存状態は良好である。眉上弓の隆起は強い。鼻根部の様態は不明であるが、前頭突起の向きは矢状方向である。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅は〔 $51 \times 2 = 102$ 〕mm、上顔高は 72mm で、上顔示数は〔70.59〕(V) となり、高上顔傾向が認められる。

眼窩高は 31mm(右)、鼻幅は 24mm、鼻高は 54mm で、鼻示数は 44.44 となり、狭鼻 (leptorrhin) に属している。

側面角は、全側面角が 81 度、鼻側面角が 85 度、歯槽側面角は 70 度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。

(3) 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 5 4 ③ ② ①	① ② 3 4 5 6 7 ⑧
-----------------	-----------------

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の 3 度（咬耗が象牙質まで及ぶ）である。

(4) 性別・年齢

眉上弓の隆起が強いことから、性別を男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板両板が開離していることから、壮年と思われる。

5) 10-SK-5 (男性・壮年) (取り上げ番号：10-7)

脳頭蓋が残存していた。骨壁は厚く、堅牢である。外後頭隆起の発達は良好であるが、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合の観察ができたが、三主縫合とも内板両板は開離している。眉上弓の隆起はやや強い。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が182mm、頭蓋最大幅は136mmで、頭蓋長幅示数は74.73となり、頭型は長頭型(dolichokran)に属している。また、頭蓋水平周は513mm、横弧長は318mmで、脳頭蓋の径はそれほど大きくはない。

外後頭隆起の発達は良好であることから、性別を男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板両板が開離していることから、壮年と思われる。

6) 10-SK-6 (幼児) (取り上げ番号：10-11)

幼児の前頭骨の左側半分が残存していたに過ぎない。

7) 10-TB-1 (男性・年齢不明) (取り上げ番号：10-8)

右側の脛骨体である。前縁は鈍縁で、径はそれほど大きくはないが、ヒラメ筋線の発達はきわめて良好で、ヒラメ筋線部が隆起し、突出している。骨体中央部の断面形はヘリチカのV型(後面が卵円形)を呈している。

計測値は、中央最大径が36mm(右)、中央横径は21mm(右)で、中央断面示数は80.77(右)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は78mm(右)で、骨体はそれほど大きいものではない。

ヒラメ筋線がきわめて発達していることから男性脛骨と推測した。年齢は不明である。

8) 10-HU-1 (幼児) (取り上げ番号：10-10)

左側上腕骨体の遠位半である。大きさから4歳くらいの上腕骨である。

2.14号墓出土人骨

1) 14-SK-1 (男性・熟年) (取り上げ番号：14-1)

(1) 脳頭蓋

後頭骨の底部を欠損している以外はほぼ完全である。骨質は堅牢で、脳頭蓋は大きい。外後頭隆起の発達はやや良好で、乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合の観察ができた。内板はほとんど癒合しているが、外板は三主縫合とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が186mm、頭蓋最大幅は149mmで、頭蓋長幅示数は80.11となり、頭型は短頭型(brachykran)に属している。また、頭蓋水平周は544mm、横弧長は(334)mmで、頭蓋の径はやや大きい。

(2) 顔面頭蓋

鼻骨と左側の上顎骨、両側の頬骨弓を欠損しているが、遺存状態は良好である。眉上弓の隆起はかなり強い。また、顔は幅広く、歯槽性突顎が認められる。鼻根部の様態は不明であるが、前頭突起の向きは全額方向である。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅は 112mm、上顔高は 67mm で、上顔示数は 59.82(V) となり、低・広顔傾向が強い。

眼窩幅は 44mm(右)、48mm(左)、眼窩高は 36mm(右)、35mm(左) で、眼窩示数は 81.82(右)、72.92(左) となり、右側は中眼窩 (mesokonch) に、左側は低眼窩 (chamaekonch) に属している。

鼻高は 52mm である。鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 18mm、両眼窩幅は 109mm で、眼窩間示数は 16.51 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅は狭い。前頭突起水平傾斜角は 102 度を示し、前頭突起の向きは前額方向である。

側面角は、全側面角が 77 度、鼻側面角が 82 度、歯槽側面角は 62 度で、歯槽性突顎の傾向が強い。

(3) 歯

上顎には歯が一部釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 5 4 ③ ② ① | / / ③ 4 5 6 7 /

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

歯はいずれも折れており、歯根部分が残存していたに過ぎない。従って、歯冠の咬耗程度は不明である。

(4) 性別・年齢

外後頭隆起の発達がやや良好で、眉上弓の隆起が強いことから、性別を男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板がほぼ癒合閉鎖し、外板はまだ開離していることから熟年と思われる。

2) 14-SK-2 (小児) (取り上げ番号: 14-2)

(1) 脳頭蓋

頂部 (頭蓋冠) を欠損している。骨壁は薄い、堅牢である。外後頭隆起部はやや膨隆している。乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側と認められない。矢状縫合とラムダ縫合の観察ができたが、両者とも内外両板は開離している。

(2) 顔面頭蓋

前頭骨の大部分を欠損している。眉上弓の観察はできない。鼻骨の隆起は弱く、鼻根部は扁平である。

(3) 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

/ 7 6 5 4 3 2 1 | 1 2 3 4 5 6 7 /

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。

(4) 性別・年齢

永久歯の歯根の形成状態から年齢を 13 歳前後と推定した。性別は外後頭隆起部が膨隆しているの
で、男性の可能性が考えられるが、ここでは性別不明としておきたい。

3) 14-SK-3 (男性・壮年) (取り上げ番号：14-3)

(1) 脳頭蓋

眉間部分を欠損している以外はほぼ完全である。骨壁は厚く、堅牢である。外後頭隆起の発達
はきわめて良好で、乳様突起も大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側と認められない。三
主縫合は内外両板ともまだ開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大幅は 137mm、バジオン・ブレグマ高は 137mm で、頭蓋幅高示数は
100.00 である。頭蓋最大長の計測はできないが、観察したところ、頭型は長頭型 (dolichokran) である。
また、横弧長は 319mm である。

(2) 顔面頭蓋

上顎骨、左側の頬骨などが残存していたが、接合ができないので、計測はできない。眉上弓の隆起
はかなり強かったようである。鼻根部の様態は不明である。歯槽性突顎の程度も不明である。

下顎骨はほぼ完全である。頑丈であるが、高径は低く、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。下顎角
は外反しており、咬筋粗面の発達も良好である。

(3) 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	/	③	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。

(4) 性別・年齢

外後頭隆起の発達がきわめて良好で、眉上弓もかなり隆起していたことから、性別を男性と推定し
た。年齢は、三主縫合の内外両板がまだ開離していることから壮年と思われる。

4) 14-SK-4 (女性・壮年) (取り上げ番号：14-4)

(1) 脳頭蓋

ほぼ完全である。骨壁はそれほど厚くはないが、堅牢である。外後頭隆起はわずかに隆起しており、
最上項線も明瞭で、外後頭隆起部は教科書的な特徴のある様相をしている。乳様突起は小さい。両側
の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合は内外両板ともまだ開離してい
る。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 177mm、頭蓋最大幅は 138mm、バジオン・ブレグマ高は

122mmである。頭蓋長幅示数は77.97、頭蓋長高示数は68.93、頭蓋幅高示数は88.41となり、頭型は中・低・平頭型 (meso-,chamae-,tapeinokran) に属している。また、頭蓋水平周は517mm、横弧長は295mm、正中矢状弧長は360mmである。

(2) 顔面頭蓋

左側の上顎骨と頬骨が残存していたに過ぎない。眉上弓の隆起は弱く、前頭鱗は膨隆している。また、強い歯槽性突顎の傾向がみられる。下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径は女性としてはやや高いが、下顎枝は幅広く、下顎切痕も浅い。下顎角の外反はみられないが、咬筋粗面の発達は比較的良好である。

(3) 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／／／ 5 4 ／／ 1	① 2 3 4 5 6 7 8
⑧ ⑦ ⑥ 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 ／：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。

(4) 性別・年齢

頭蓋の径が小さいことや眉上弓の隆起は弱く、前頭鱗は膨隆していることから、女性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板がまだ開離していることから壮年と思われる。

5) 14-SK-5 (男性・熟年) (取り上げ番号：14-5)

(1) 脳頭蓋

前頭骨、左側側頭骨、右側側頭骨の一部、左側頭頂骨、右側頭頂骨の一部が残存していたに過ぎない。骨壁はやや厚く、堅牢である。乳様突起は小さい。左側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。三主縫合の内、冠状縫合とラムダ縫合は内外両板とも開離しているが、矢状縫合については、内板は完全に癒合しており、外板も癒合が進行している。計測はできないが、観察によれば、頭型は長頭型 (dolichokran) である。

(2) 顔面頭蓋

眉上弓の隆起はやや強く、前頭結節の発達はみられない。鼻根部の様態は不明である。計測はほとんどできないが、径はあまり大きくはなさそうである。弱い歯槽性突顎傾向がみられる。

(3) 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 ③ ② ①	① ② 3 ④ ⑤ 6 7 8
-----------------	-----------------

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 ／：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は、第一大白歯は Broca の2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)であるが、その他は Broca の1度(咬耗がエナメル質のみ)で、第一大白歯の咬耗だけが異常に強い。

(4) 性別・年齢

乳様突起は小さいが、眉上弓の隆起がやや強く、前頭結節の発達が見られないことから、性別を男性と推定した。年齢は、冠状縫合とラムダ縫合は内外両板とも開離しているが、矢状縫合の内板は完全に癒合しており、外板の癒合も進んでいることから、熟年と思われる。

6) 14-SK-6 (男性・熟年) (取り上げ番号：14-6)

(1) 脳頭蓋

前頭骨と左側頭頂骨の大部分を欠損している。頭蓋壁はあまり厚くはないが、堅牢である。外後頭隆起の発達は良好で、最上項線も明瞭で、きれいな線を描いている。乳様突起は小さい。右側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。ラムダ縫合は内外両板とも開離しているが、冠状縫合の内板と矢状縫合の内板の半分は癒合しており、両縫合の外板は開離している。頭型は観察によっても推測できない。

(2) 顔面頭蓋

右側頬骨と右側上顎骨のみが残存していたに過ぎない。眉上弓や鼻根部の様態は不明である。

(3) 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 3 2 ① | / / / / / / / /

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 3 度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) で、咬耗は強い。

(4) 性別・年齢

外後頭隆起の発達は良好で、最上項線も明瞭であることから、性別を男性と推定した。年齢は、ラムダ縫合の内外両板は開離しているが、冠状縫合と矢状縫合の内板両板が癒合しないし癒合が進行していることから、熟年と思われる。

7) 14-SK-7 (女性・成年) (取り上げ番号：14-7-1)

(1) 脳頭蓋

後頭骨の一部と左側頭頂骨を欠損している。外後頭隆起の発達はみられない。乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合は内外両板ともまだ開離している。頭型は観察によっても推測できない。

(2) 顔面頭蓋

左側頬骨と左側上顎骨の一部を欠損している。眉上弓の隆起は弱く、前頭鱗は膨隆している。鼻根部は狭く、扁平である。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅は〔48 × 2=96〕mm、上顔高は 63mm で、上顔示数は〔65.63〕(V) となり、顔面には強い低・広顔傾向が認められる。

眼窩幅は 41mm(右)、眼窩高は 34mm(右) で、眼窩示数は 77.27(右) となり、右側は中眼窩 (mesokonch)

に属している。

鼻幅は23mm、鼻高は49mmで、鼻示数は46.94となり、狭鼻 (leptorrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が15mm、鼻根横弧長は16mm、鼻根彎曲示数は93.75となり、鼻根部は扁平である。

(3) 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 3 2 1 | 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。また、両側の第三大臼歯の歯根はまだ完成していない。

(4) 性別・年齢

外後頭隆起の発達がみられないこと、眉上弓の隆起が弱く、前頭鱗も膨隆していることから、性別を女性と推定した。年齢は、蝶後頭軟骨結合部の様態は不明であるが、三主縫合の内外両板が開離していることや、両側の第三大臼歯の歯根がまだ完成していないことから、成年(16～20歳)の可能性が強い。

8) 14-SK-8 (男性・壮年) (取り上げ番号：14-7-2)

左側側頭骨、左右の頭頂骨、後頭骨のそれぞれ一部が残存していたに過ぎない。骨壁は厚く、堅牢である。外後頭隆起は著しく発達している。乳様突起も大きそうである。ラムダ縫合の右側部の観察ができたが、内外両板は開離している。

外後頭隆起が著しく発達していることから、男性頭蓋である。年齢は、観察できたラムダ縫合の右側部の内外両板が開離していることから推測すれば、壮年の可能性が強い。

9) 14-SK-9 (女性・年齢不明) (取り上げ番号：14-7-3)

左側側頭骨、頬骨などである。乳様突起は小さい。頬骨もかなり小さい。左側外耳道の観察ができたが、骨腫はみられない。頬骨や乳様突起が小さいことから、女性頭蓋と推定した。年齢は不明である。

10) 14-SK-10 (幼児) (取り上げ番号：14-7-4)

左側側頭骨と頭頂骨、前頭骨である。骨壁はかなり薄い。側頭骨の形状や大きさから、幼児の頭蓋である。

11) 14-SK-11 (男性・成年) (取り上げ番号：14-8)

(1) 脳頭蓋

右側側頭骨、前頭骨と後頭骨の一部を欠損している。骨壁は薄い。外後頭隆起の様態は不明である。乳様突起はやや大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は両側とも認められない。三主縫合は

内外両板ともまだ開離している。脳頭蓋の径はやや大きい。また、頭蓋の幅径が大きく、頭型は短頭型 (brachykran) とされる。

(2) 顔面頭蓋

右側頬骨などを欠損している。眉上弓や鼻根部の様態は不明である。計測はできないが、高径は低そうで、歯槽性突顎の傾向がみられる。

下顎骨は、右側の下顎枝を欠損しているが、保存状態は良好である。下顎体の高径は低く、下顎枝は細く、下顎切痕はやや深い。

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8
／	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明(破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。第三大臼歯は骨内に埋伏状態で、未萌出である。

(4) 性別・年齢

頭蓋の径が大きいことと乳様突起が大きいことから、性別を男性と推定した。年齢は、第三大臼歯がまだ未萌出であることと歯根の様態から、成年 (16 ~ 20 歳) の可能性が強い。

1 2) 14-SK-12 (女性・熟年) (取り上げ番号: 14-9-1)

脳頭蓋が残存していた。外後頭隆起の発達はあまりよくない。乳様突起も小さい。眉上弓の隆起も弱いが、前頭鱗の膨隆はみられない。三主縫合は、内板は癒合しており、外板においては縫合を確認することはできるが、癒合が進行している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 183mm、頭蓋最大幅は 133mm で、頭蓋長幅示数は 72.68 となり、頭型は長頭型 (dolichokran) である。

眉上弓の隆起が弱いことから、性別を女性と推定した。年齢は、三主縫合の内板が癒合し、外板にも癒合が進行していることから、熟年と思われる。

1 3) 14-SK-13 (幼児) (取り上げ番号: 14-9-2)

前頭骨、左右の頭頂骨、後頭骨が残っていたに過ぎない。幼児の頭蓋である。

1 4) 14-SK-14 (幼児) (取り上げ番号: 14-10)

幼児の脳頭蓋が残存していた。

1 5) 14-FE-1 (男性) (取り上げ番号: 14-16)

左側大腿骨体である。骨体はやや大きく、粗線の発達は良好で、骨体上部も扁平である。

計測値は、骨体中央矢状径が 30mm(左)、横径は 29mm(左) で、骨体中央断面示数は

103.45(左)となり、粗線や骨体両側面の後方への発達は比較的良好である。骨体中央周は93mm(左)で、骨体は太い。また、骨体上横径は33mm(左)、骨体上矢状径は23mm(左)で、上骨体断面示数は69.70(左)となり、骨体上部は扁平である。男性大腿骨である。

16) 14-FE-2 (男性) (取り上げ番号: 14-16)

左側大腿骨体である。骨体はそれほど大きくはないが、粗線の幅は広く、隆起している。

計測値は、骨体中央矢状径が25mm(左)、横径は28mm(左)で、骨体中央断面示数は89.29(左)となり、骨体両側面の後方への発達は悪い。骨体中央周は85mm(左)で、骨体はそれほど大きくはない。また、骨体上横径は33mm(左)、骨体上矢状径は21mm(左)で、上骨体断面示数は63.64(左)となり、骨体上部は扁平である。男性大腿骨である。

17) 14-FE-3 (男性) (取り上げ番号: 14-17)

右側大腿骨近位部である。骨頭はやや大きく、頸は短い。男性大腿骨である。

18) 14-TB-1 (男性) (取り上げ番号: 14-20)

右側脛骨体である。骨体はやや大きく、扁平で、ヒラメ筋線も明瞭で、下部は稜線をなしている。骨体の断面形はヘリチカのIV型(後面に一稜を形成し、断面型は菱形)を呈している。

計測値は、中央最大径が30mm(右)、中央横径は20mm(右)で、中央断面示数は66.67(右)となり、骨体は扁平である。骨体周は82mm(右)で、骨体はやや太い。男性脛骨である。

3.86号墓出土人骨

1) 86-SK-1 (性別不明・壮年) (取り上げ番号: 86-10)

成人の右側側頭骨である。三主縫合は内外両板とも開離していたようである。性別は不明であるが、年齢は、縫合が内外両板とも開離していたようなので、壮年とした。

2) 86-SK-2 (男性・壮年) (取り上げ番号: 86-14-1)

成人の右側頭頂骨である。骨壁はかなり厚く、堅牢である。三主縫合は内外両板とも開離していたようである。骨壁が厚いことから男性頭頂骨と推定した。年齢は、年齢は縫合が内外両板とも開離していたようなので、壮年とした。

3) 86-SK-3 (男性・壮年) (取り上げ番号: 86-16)

前頭骨、左右の頭頂骨、後頭骨が残存していたに過ぎない。外後頭隆起の様態は不明であるが、眉上弓の隆起は強かったと思われる。

三主縫合は内外両板とも開離している。計測はできないが、頭型は長頭型(dolichokran)と推測される。眉上弓の隆起は強かったようなので、性別を男性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板が開離していることから、壮年と思われる。

4) 86-SK-4 (幼児) (取り上げ番号: 86-18)

未成人の頭蓋骨(前頭骨、頭頂骨、後頭骨)である。

5) 86-SK-5 (幼児)

未成人の頭蓋(前頭骨、頭頂骨、後頭骨、上顎骨、下顎骨)である。乳歯が20本、永久歯も残存しており、永久歯根の形成状態から年齢を4歳前後と推定した。

6) 86-SK-6 (幼児)

未成人の頭蓋(前頭骨、頭頂骨、後頭骨、上顎骨、鼻骨)である。乳歯と永久歯冠が残存していた。永久歯冠の形成状態から年齢を2~3歳と推定した。

7) 86-SK-7 (幼小児)

未成人の後頭骨のみである。未成人骨は本例のほかに3体あるが、いずれも後頭骨が存在するので、この3体とは別個体である。

8) 86-SK-8 (男性、壮年)

成人の後頭骨のみである。骨壁はかなり厚い。外後頭隆起の発達は良好である。ラムダ縫合は内外両板とも開離していたようである。86-SK-2と同一個体の可能性も考えられる。

9) 86-RA-1 (女性)

右側橈骨体である。骨体は細いが、骨間縁は鋭く突出している。女性橈骨である。

10) 86-UL-1 (男性)

左側尺骨体遠位部である。径はやや大きい。男性尺骨である。

11) 86-FE-1 (男性)

完全な右側大腿骨である。長さは短く、粗線の発達は良好であるが、骨体は細い。

計測値は、最大長が388mm(右)、骨体中央周は80mm(右)で、長厚示数は20.89(右)となり、骨体は頑丈ではない。骨体中央矢状径は25mm(右)、横径は26mm(右)で、骨体中央断面示数は96.15(右)となり、骨体両側面の後方への発達は悪い。また、骨体上横径は31mm(右)、骨体上矢状径は21mm(右)で、上骨体断面示数は67.74(右)となり、骨体上部は扁平である。粗線の発達がかなり良好なことから、男性大腿骨と推定した。

大腿骨最大長から、Pearson および藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ154.25cm(Pearson 式)、151.74cm(藤井式)となり、かなりの低身長である。

1 2) 86-FE-2 (男性)

右側大腿骨体である。骨体はそれほど太いものではない。骨体中央矢状径は 27mm(右)、横径は 26mm(右)で、骨体中央断面示数は 103.85(右)となり、骨体両側面は後方へわずかに延伸している。骨体中央周は 84mm(右)で、やや細い。男性大腿骨と推定した。骨体には数カ所に刀創とみられる傷がある。

1 3) 86-FE-3 (男性)

右側大腿骨である。骨頭はやや大きい、骨体の径はそれほど大きくはない。粗線は明瞭であるが、幅は狭い。骨体中央矢状径は 25mm(右)、横径は 26mm(右)で、骨体中央断面示数は 96.15(右)となり、骨体両側面の後方への発達が悪い。骨体中央周は 80mm(右)で、骨体は細いが、骨頭が大きいことから男性大腿骨と推定した。

1 4) 86-FE-4 (男性)

左側大腿骨体である。骨体の径はそれほど大きくはない。粗線の幅はやや広い。骨体中央矢状径は 25mm(左)、横径は 28mm(左)で、骨体中央断面示数は 89.29(左)となり、骨体両側面の後方への発達が悪い。骨体中央周は 84mm(左)である。男性大腿骨と推定した。本骨体にも傷が 2箇所認められる。

1 5) 86-FE-5 (女性)

左側大腿骨体である。骨体はきわめて細い。骨体中央矢状径は 22mm(左)、横径は 21mm(左)で、骨体中央断面示数は 104.76(右)である。骨体中央周は 68mm(左)で、骨体はかなり細い。骨体上横径は 25mm(左)、骨体上矢状径は 19mm(左)で、上骨体断面示数は 76.00(左)となり、骨体上部は扁平である。径が小さいので、女性としたが、未成人の可能性もある。

1 6) 86-FE-6 (女性)

左右の大腿骨体が残存していた。その径はかなり小さく、骨体は細い。表面が剥落しているので、計測も粗線の観察もできないが、骨体上横径は 27mm(左)、骨体上矢状径は 19mm(左)で、上骨体断面示数は 70.37(左)となり、骨体上部は扁平である。骨体が細いことから女性大腿骨と推定した。

1 7) 86-TB-1 (男性)

右側脛骨体である。前縁は鋭く、骨体は扁平である。ヒラメ筋線の発達はよくない。骨体の断面形はヘリチカのV型(後面が卵円形)を呈している。

計測値は、中央最大径が 29mm(右)、中央横径は 20mm(右)で、中央断面示数は 68.97(右)となり、骨体はわずかに扁平である。骨体周は 79mm(右)、最小周は 73mm(右)で、骨体はやや大きい。男性脛骨である。

18) 86-TB-2 (男性)

左側脛骨体である。骨体はやや大きい。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形はヘリチカのV型(後面が卵円形)を呈している。

計測値は、中央最大径が29mm(右)、中央横径は22mm(右)で、中央断面示数は75.86(右)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は81mm(右)、最小周は71mm(右)で、骨体はやや大きい。男性脛骨である。

19) 86-FB-1 (男性)

左側腓骨体である。骨体はやや大きく、稜の発達は良好で、溝も深い。男性腓骨である。

20) 86-FB-2 (女性)

右側腓骨体中央部である。骨体は細いが、稜の発達は良好である。女性腓骨と思われる。

要 約

神奈川県鎌倉市にある由比ヶ浜南遺跡の10・14・86号墓(集骨)から出土した人骨の整理・復元をおこない、体数を推測し、人骨の人類学的観察と計測をおこなった。その結果を要約すると次のとおりである。

1. 10号墓から検出された人骨の体数は成人骨5体(男3、女2)、幼児骨1体の合計6体である。14号墓から出土した人骨の数は、頭蓋の数から成人骨10体(男6、女4)、幼児骨4体の合計14体である。86号墓から出土した人骨の数は、頭蓋と四肢骨の数から、成人骨6体分(男4、女2)、幼小児骨4体の合計10体である。
2. 10・14・86号墓の集骨墓から検出された人骨は、四肢骨よりも頭蓋の方が多い。また、成人では壮年が多い。
3. 本人骨群は、考古学的所見から、中世に属する人骨群である。
4. 頭蓋長幅示数を算出できたのは、男性4体、女性2体である。男性4体のうち1体(14-SK-1)は短頭型で、残りの3体(10-SK-3,10-SK-4,10-SK-5)は長頭型である。女性2体のうち1体(14-SK-12)は長頭型で、残り1体(14-SK-4)は中頭型である。
5. 顔示数を算出できたのは男性1例(10-SK-3)のみであるが、顔示数(K)は〔80.43〕となり、この例は低顔である。上顔示数を算出することができたのは、男性3例のみである。その上顔示数は、コルマンの上顔示数が〔47.83〕(10-SK-3)、ウィルヒョウーの上顔示数は〔70.59〕(10-SK-4)、59.82(14-SK-1)で、2例は低上顔で、1例(10-SK-4)はかなりの高上顔である。
6. 大腿骨から男性1例(86-FE-1)の推定身長値が得られた。その推定値は154.25cm(Pearson式)、151.74cm(藤井式)で、かなりの低身長である。
7. 大腿骨と脛骨に刀創が認められるものが3例(86-FE-2・男、86-FE-4・男、86-TB-2・男)存在する。
8. 10・14・86号墓から出土した人骨は、四肢骨よりも頭蓋の数が多く、成人頭蓋と幼児の頭蓋の両者がみられることから、これらの遺構は頭蓋を主体とした集骨遺構である。

《参考文献》

1. Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1.Gustav Fisher Verlag, Stuttgart : pp.429-597.
2. 松下孝幸・他、1983 : 山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次発掘調査概報(豊北町埋蔵文化財調査報告2) : pp.19-30.
3. 松下孝幸、2002 : 神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉 : pp.1-99.
4. 松下孝幸、2002 : 鎌倉市由比ヶ南遺跡集骨墓出土中世人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉 : pp.101-134.
5. 松下孝幸・他、2018 : 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡9号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第13号 : pp.19-34.
6. 鈴木 尚、1963 : 日本人の骨。岩波書店、東京.

* Takayuki MATSUSHITA、** Masami MATSUSHITA (特定非営利活動法人人類学研究機構)

表2 由比ヶ浜南10・14・86号墓出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	取り上げ番号	性別	年齢	残存部位など
10号墓人骨				
10-SK-1	10-2	女	壮年	頭蓋
10-VT-1	10-3	女	不明	第一頸椎片
10-VT-2	10-3	女	不明	第二頸椎片
10-SK-2	10-4	女	壮年	頭蓋
10-SK-3	10-5	男	壮年	頭蓋
10-SK-4	10-6	男	壮年	頭蓋
10-SK-5	10-7	男	壮年	頭蓋
10-TB-1	10-8	男	不明	右側脛骨体
	10-9覆土	不明	-	骨片、永久歯3本
	10-10一括	不明	-	頭蓋片1点
10-HU-1	10-10一括	-	幼児	左側上腕骨体
10-SK-6	10-11	-	幼児	前頭骨片
	10-12	不明	不明	頭蓋片2点
14号墓人骨				
14-SK-1	14-1	男	熟年	頭蓋
14-SK-2	14-2	-	小児	13歳前後
14-SK-3	14-3	男	壮年	頭蓋
14-SK-4	14-4	女	壮年	頭蓋
14-SK-5	14-5	男	熟年	頭蓋
14-SK-6	14-6	男	熟年	頭蓋
14-SK-7	14-7-1	女	成年	頭蓋
14-SK-8	14-7-2	男	壮年	頭蓋
14-SK-9	14-7-3	女	不明	頭蓋
14-SK-10	14-7-4	-	幼児	頭蓋
14-SK-11	14-8	男	成年	頭蓋
14-SK-12	14-9-1	女	熟年	頭蓋
14-SK-13	14-9-2	-	幼児	頭蓋
14-SK-14	14-10	-	幼児	頭蓋
14-SC-1	14-21	男	-	肩甲骨(左)
14-RA-1	14-21	男	-	橈骨(左)
14-CX-1	14-13,15	男	-	寛骨(左右)
14-CX-2	14-14	男	-	寛骨(左)
14-FE-1	14-16	男	-	大腿骨(左)
14-FE-2	14-16	男	-	大腿骨(左)
14-FE-3	14-17	男	-	大腿骨(右)
14-TB-1	14-20	男	-	脛骨(右)
14-SA-1	14-13,15	男	-	仙骨
14-Y-1	14-19	-	未成人	仙骨、寛骨(左)、大腿骨(左)、椎骨
86号墓人骨				
86-SK-1	86-10	不明	壮年	右側頭頂骨のみ
86-SK-2	86-14-1	男	壮年	右側頭頂骨のみ
86-SK-3	86-16	男	壮年	頭蓋冠
86-SK-4	86-18	-	幼児	頭蓋骨のみ
86-SK-5		-	幼児(4歳)	頭蓋骨のみ
86-SK-6		-	幼児(2~3歳)	頭蓋のみ
86-SK-7		-	幼小児	後頭骨のみ
86-SK-8		男	壮年	後頭骨のみ
86-RA-1		女	-	右
86-UL-1		男	-	左
86-FE-1		男	-	右、完全
86-FE-2		男	-	右、傷
86-FE-3		男	-	右
86-FE-4		男	-	左、傷
86-FE-5		女	-	左
86-FE-6		女	-	左右
86-TB-1		男	-	右
86-TB-2		男	-	左、傷
86-FB-1		男	-	左
86-FB-2		女	-	右

SK: 頭蓋、VT: 椎骨、SC: 肩甲骨、HU: 上腕骨、RA: 橈骨、CX: 寛骨、SA: 仙骨
 FE: 大腿骨、TB: 脛骨、FB: 腓骨

表4 脳頭蓋 (mm) (Calvaria)

	10-SK-3	10-SK-4	10-SK-5	14-SK-1	14-SK-3	14-SK-5	14-SK-6	10-SK-6	14-SK-7	14-SK-12	14-SK-2	14-SK-4	14-SK-7	14-SK-14	86-SK-5	86-SK-6
	男	男	男	男	男	男	男	女	女	女	小児 13歳前後	幼児 (4歳)	幼児 (2~3歳)			
1. 頭蓋最大長	191	188	182	186	-	-	-	177	-	183	-	-	-	-	-	-
8. 頭蓋最大幅	137	138	136	149	137	-	138	138	-	133	-	115	134	-	-	-
17. バジオン・ブレグマ高	-	-	150	-	137	-	122	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/1 頭蓋長幅示数	71.73	73.40	74.73	80.11	-	-	77.97	-	-	72.68	-	-	-	-	-	-
17/1 頭蓋長高示数	-	-	82.42	-	-	-	68.93	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17/8 頭蓋幅高示数	-	-	110.42	-	100.00	-	88.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1+8+17/3 頭蓋マズルス	-	-	156.00	-	-	-	145.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. 頭蓋底長	-	-	115	-	-	-	94	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9. 最小前頭幅	97	101	94	97	-	-	90	92	-	-	-	-	-	-	-	87
10. 最大前頭幅	-	121	115	125	(116)	-	119	-	-	94	-	-	-	-	-	-
11. 両耳幅	120	123	126	-	116	-	127	-	-	117	-	-	-	-	-	-
12. 最大後頭幅	-	101	107	113	118	(108)	104	-	-	102	-	-	-	-	-	-
13. 乳突幅	-	103	101	105	101	-	101	-	-	114	-	-	-	-	-	-
7. 大後頭孔長	-	-	35	-	30	-	35	-	-	29	-	-	-	-	-	-
16. 大後頭孔幅	-	29	25	-	26	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16/7 大後頭示数	-	-	71.43	-	86.67	-	77.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 頭蓋水平周	528	523	513	544	-	-	517	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 横弧長	(313)	324	318	(334)	319	[320]	295	297	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 正中矢状弧長	-	-	378	-	-	-	360	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 正中矢状前頭弧長	129	-	127	126	-	138	122	125	123	-	-	-	-	-	-	-
27. 正中矢状頭頂弧長	130	141	126	137	131	136	124	-	126	-	-	-	122	-	-	-
28. 正中矢状後頭弧長	-	118	125	-	119	133	114	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29. 正中矢状前頭弦長	112	(115)	112	114	-	118	105	112	110	-	-	-	-	-	-	-
30. 正中矢状頭頂弦長	117	125	112	121	115	118	110	106	109	-	-	-	-	-	-	-
31. 正中矢状後頭弦長	-	97	102	-	98	101	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29/26 矢状前頭示数	86.82	-	88.19	90.48	-	85.51	86.07	89.60	89.43	-	-	-	-	-	-	-
30/27 矢状頭頂示数	90.00	88.65	88.89	88.31	87.79	86.76	88.71	-	84.13	-	-	-	-	-	-	-
31/28 矢状後頭示数	-	82.20	81.60	-	82.53	75.94	81.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(): 推定値 []: 方側×2

表5 顔面頭蓋 (mm、度) (Facial skeleton)

		10-SK-3	10-SK-4	10-SK-5	14-SK-1	14-SK-5	14-SK-4	14-SK-7	14-SK-2	86-SK-6
		男	男	男	男	男	女	女	小児 13歳前後	幼児 (2~3歳)
40.	顔長	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41.	側顔長	77	74	-	-	-	-	73	-	-
42.	下顔長	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43.	上顔幅	108	-	105	111	-	(102)	100	94	85
45.	頬骨弓幅	[138]	-	-	-	-	-	-	-	-
46.	中顔幅	-	[102]	-	112	99	-	[96]	(99)	-
47.	顔高	111	-	-	-	-	-	-	-	-
48.	上顔高	66	72	-	67	-	-	63	58	-
47/45	顔示数(K)	[80.43]	-	-	-	-	-	-	-	-
48/45	上顔示数(K)	[47.83]	-	-	-	-	-	-	-	-
47/46	顔示数(V)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48/46	上顔示数(V)	-	[70.59]	-	59.82	-	-	-	(58.59)	-
40+45+47/3	顔面モズルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50.	前眼窩間幅	16	-	-	18	-	-	15	15	-
44.	両眼窩幅	105	-	-	109	-	-	-	-	-
50/44	眼窩間示数	15.24	-	-	16.51	-	-	-	-	-
51.	眼窩幅(右)	50	-	-	44	-	-	44	-	-
	(左)	47	-	-	48	-	-	-	41	-
52.	眼窩高(右)	32	31	-	36	-	-	34	-	-
	(左)	34	-	-	35	-	-	-	32	-
52/51	眼窩示数(右)	69.00	-	-	81.82	-	-	77.27	-	-
	(左)	72.34	-	-	72.92	-	-	-	78.05	-
54.	鼻幅	26	24	-	-	-	-	23	21	-
55.	鼻高	52	54	-	52	-	-	49	43	-
54/55	鼻示数	50.00	44.44	-	-	-	-	46.94	48.84	-
55(1).	梨状口高	-	-	-	-	-	-	-	27	-
56.	鼻骨長	-	-	-	-	-	-	-	17	15
57.	鼻骨最小幅	-	-	-	-	-	-	-	8	5
57(1).	鼻骨最大幅	-	-	-	-	-	-	-	-	12
60.	上顎歯槽長	-	55	-	-	52	-	63	42	-
61.	上顎歯槽幅	63	63	-	-	63	-	-	62	-
62.	口蓋長	46	46	-	-	51	-	42	42	-
63.	口蓋幅	-	(36)	-	-	37	-	-	(46)	-
64.	口蓋高	12	10	-	-	11	-	-	10	-
61/60	上顎歯槽示数	-	114.55	-	-	121.15	-	-	147.62	-
63/62	口蓋示数	-	(78.26)	-	-	72.55	-	-	109.52	-
64/63	口蓋高示数	-	(27.78)	-	-	29.73	-	-	21.74	-
72.	全側面角	83	81	-	77	-	-	-	-	-
73.	鼻側面角	85	85	-	82	-	-	-	-	-
74.	歯槽側面角	72	70	-	62	-	-	-	-	-

表7 下顎骨 (mm、度) (Mandibula)

	10-SK-3 14-SK-3 14-SK-4		
	男	男	女
65. 下顎関節突起幅	-	128	125
65(1). 下顎筋突起幅	-	-	-
66. 下顎角幅	105	107	97
67. 前下顎幅	48	47	51
68. 下顎長	71	77	72
68(1). 下顎長	104	107	102
69. オトガイ高	-	34	-
69(1). 下顎体高(右)	31	33	34
(左)	32	33	-
69(2). 下顎体高(右)	27	27	24
(左)	29	29	27
70. 枝高(右)	61	57	57
(左)	57	54	65
70(1). 前枝高(右)	65	64	(65)
(左)	-	-	-
70(2). 最小枝高(右)	47	49	49
(左)	46	50	51
70(3). 下顎切痕高(右)	18	16	-
(左)	-	-	-
71(1). 下顎切痕幅(右)	34	38	-
(左)	-	-	-
71. 枝幅(右)	39	37	35
(左)	40	38	36
71a. 最小枝幅(右)	40	37	35
(左)	40	38	36
79. 下顎枝角(右)	115	121	122
(左)	115	123	-
66/65 下顎幅示数	-	83.59	77.60
68/65 幅長示数	-	60.16	57.60
68(1)/65 幅長示数	-	83.59	81.60
69(2)/69 下顎高示数(右)	-	79.41	-
(左)	-	85.29	-
71/70 下顎枝示数(右)	63.93	64.91	61.40
(左)	70.18	70.37	55.38
71a/70(2) 下顎枝示数(右)	85.11	75.51	71.43
(左)	86.96	76.00	70.59
70(3)/71(1) 下顎切痕示数(右)	52.94	42.11	-
(左)	-	-	-

表6 鼻根部 (mm、度) (Nasal root)

	10-SK-3 10-SK-4 14-SK-1 14-SK-7			
	男	男	男	女
50. 前眼窩間幅	16	-	18	15
50A. 鼻根横弧長	17	-	-	16
50/50A 鼻根彎曲示数	94.12	-	-	93.75
57. 鼻骨最小幅	4	-	-	7
44. 両眼窩幅	105	-	109	-
50/44 眼窩間示数	15.24	-	16.51	-
a. 前頭突起上幅(右)	14	-	10	9
(左)	15	-	10	11
b. 前頭突起水平傾斜角	88	-	3	-
c. G-N投影距離	4	-	-	-
d. 鼻根角	-	-	-	-
e. G-R距離	-	2	-	-
f. 垂線高	-	-	-	-
f/e 鼻根陥凹示数	-	-	-	-
77. 鼻類骨角	147	-	156	-
Fa fmo間距離	120	-	140	-
Fh 垂線高	15	-	11	-
Fh/Fa 顔面扁平示数	12.50	-	7.86	-

表8 肩甲骨 (男性、mm) (Scapula)

	14-SC-1	
	男	
12. 関節窩長(右)	-	-
(左)	37	-
13. 関節窩幅(右)	-	-
(左)	-	-
14. 関節窩深(右)	-	-
(左)	5	-
13/12 関節窩長幅示数(右)	-	-
(左)	-	-
14/12 関節窩彎曲示数(右)	-	-
(左)	-	-

表9 橈骨 (mm) (Radius)

	14-RA-1 86-RA-1	
	男	女
1. 最大長(右)	-	-
(左)	-	-
1b. 平行長(右)	-	-
(左)	-	-
2. 機能長(右)	-	-
(左)	-	-
3. 最小周(右)	-	33
(左)	41	-
4. 骨体横径(右)	-	13
(左)	14	-
4a. 骨体中央横径(右)	-	13
(左)	14	-
4(1). 小頭横径(右)	-	-
(左)	-	-
4(2). 頸横径(右)	-	-
(左)	-	-
5. 骨体矢状径(右)	-	10
(左)	12	-
5a. 骨体中央矢状径(右)	-	10
(左)	12	-
5(1). 小頭矢状径(右)	-	-
(左)	-	-
5(2). 頸矢状径(右)	-	-
(左)	-	-
5(3). 小頭周(右)	-	-
(左)	-	-
5(4). 頸周(右)	-	-
(左)	-	-
5(5). 骨体中央周(右)	-	36
(左)	42	-
5(6). 骨下端幅(右)	-	25
(左)	-	-
3/2 長厚示数(右)	-	-
(左)	-	-
5/4 骨体断面示数(右)	-	76.92
(左)	85.71	-
5a/4a 中央断面示数(右)	-	76.92
(左)	85.71	-

表10 尺骨 (男性、mm) (Ulna)

	86-UL-1	
	男	
1. 最大長(右)	-	-
(左)	-	-
2. 機能長(右)	-	-
(左)	-	-
2(1). 肘頭尺骨頭長(右)	-	-
(左)	-	-
3. 最小周(右)	-	-
(左)	-	-
6. 肘頭幅(右)	-	-
(左)	-	-
6(1). 上幅(右)	-	-
(左)	-	-
7. 肘頭深(右)	-	-
(左)	-	-
8. 肘頭高(右)	-	-
(左)	-	-
11. 尺骨矢状径(右)	-	-
(左)	-	-
12. 尺骨横径(右)	-	-
(左)	-	-
S 中央最小径(右)	13	-
(左)	-	-
L 中央最大径(右)	14	-
(左)	-	-
C 中央周(右)	46	-
(左)	-	-
3/2 長厚示数(右)	-	-
(左)	-	-
11/12 骨体断面示数(右)	-	-
(左)	-	-
S/L 中央断面示数(右)	92.86	-
(左)	-	-

表11 大腿骨 (mm) (Femur)

	14-FE-1	14-FE-2	14-FE-3	86-FE-1	86-FE-2	86-FE-3	86-FE-4	86-FE-5	86-FE-6
	男	男	男	男	男	男	男	女	女
1. 最大長(右)	-	-	-	388	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 自然位全長(右)	-	-	-	383	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3. 最大転子長(右)	-	-	-	381	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 自然位転子長(右)	-	-	-	367	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. 骨体中央矢状径(右)	-	-	-	25	27	25	-	-	-
(左)	30	25	-	-	-	-	25	22	-
7. 骨体中央横径(右)	-	-	-	26	26	26	-	-	-
(左)	29	28	-	-	-	-	28	21	-
8. 骨体中央周(右)	-	-	-	80	84	80	-	-	-
(左)	93	85	-	-	-	-	84	68	-
9. 骨体上横径(右)	-	-	-	31	-	31	-	-	-
(左)	33	33	-	-	-	-	33	25	27
10. 骨体上矢状径(右)	-	-	-	21	-	-	-	-	-
(左)	23	21	-	-	-	-	22	19	19
15. 頸垂直径(右)	-	-	32	30	-	33	-	-	-
(左)	-	32	-	-	-	22	-	-	-
16. 頸矢状径(右)	-	-	25	23	-	-	-	-	-
(左)	-	23	-	-	-	-	-	-	-
17. 頸周(右)	-	-	92	88	-	-	-	-	-
(左)	-	93	-	-	-	-	-	-	-
18. 頭垂直径(右)	-	-	45	40	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 頭横径(右)	-	-	44	40	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20. 頭周(右)	-	-	141	127	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 上顆幅(右)	-	-	-	72	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/2 長厚示数(右)	-	-	-	20.89	-	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7 骨体中央断面示数(右)	-	-	-	96.15	103.85	96.15	-	-	-
(左)	103.45	89.29	-	-	-	-	89.29	104.76	-
10/9 上骨体断面示数(右)	-	-	-	67.74	-	-	-	-	-
(左)	69.70	63.64	-	-	-	-	66.67	76.00	70.37

表12 脛骨(男性、mm)(Tibia)

	10-TB-1 14-TB-1 86-TB-1 86-TB-2			
	男	男	男	男
1. 脛骨全長(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
1a. 脛骨最大長(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
1b. 脛骨長(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
2. 顆距間距離(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
3. 最大上端幅(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
3a. 上内関節面幅(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
3b. 上外関節面幅(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
4a. 上内関節面深(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
4b. 上外関節面深(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
6. 最大下端幅(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
7. 下端矢状径(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
8. 中央最大径(右)	26	30	29	-
(左)	-	-	-	29
8a. 栄養孔位最大径(右)	34	37	35	-
(左)	-	-	-	-
9. 中央横径(右)	21	20	20	-
(左)	-	-	-	22
9a. 栄養孔位横径(右)	23	23	21	-
(左)	-	-	-	-
10. 骨体周(右)	78	82	79	-
(左)	-	-	-	81
10a. 栄養孔位周(右)	91	96	91	-
(左)	-	-	-	-
10b. 最小周(右)	-	-	73	-
(左)	-	-	-	71
9/8. 中央断面示数(右)	80.77	66.67	68.97	-
(左)	-	-	-	75.86
9a/8a 栄養孔位断面示数(右)	67.65	62.16	60.00	-
(左)	-	-	-	-
10b/1 長厚示数(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-

表13 腓骨(男性、mm)(Fibula)

	86-FB-1	
	男	
1. 最大長(右)	-	-
(左)	-	-
2. 中央最大径(右)	-	-
(左)	16	-
3. 中央最小径(右)	-	-
(左)	11	-
4. 中央周(右)	-	-
(左)	46	-
4a. 最小周(右)	-	-
(左)	40	-
4b. 頸横径(右)	-	-
(左)	11	-
4c. 頸矢状径(右)	-	-
(左)	13	-
4(1). 上端幅(右)	-	-
(左)	-	-
4(1a). 上端矢状幅(右)	-	-
(左)	-	-
4(2). 下端幅(右)	-	-
(左)	-	-
4(2a). 下端矢状幅(右)	-	-
(左)	-	-
3/2 中央断面示数(右)	-	-
(左)	68.75	-
4a/1 長厚示数(右)	-	-
(左)	-	-

表14 推定身長値(男性、cm)(Stature)

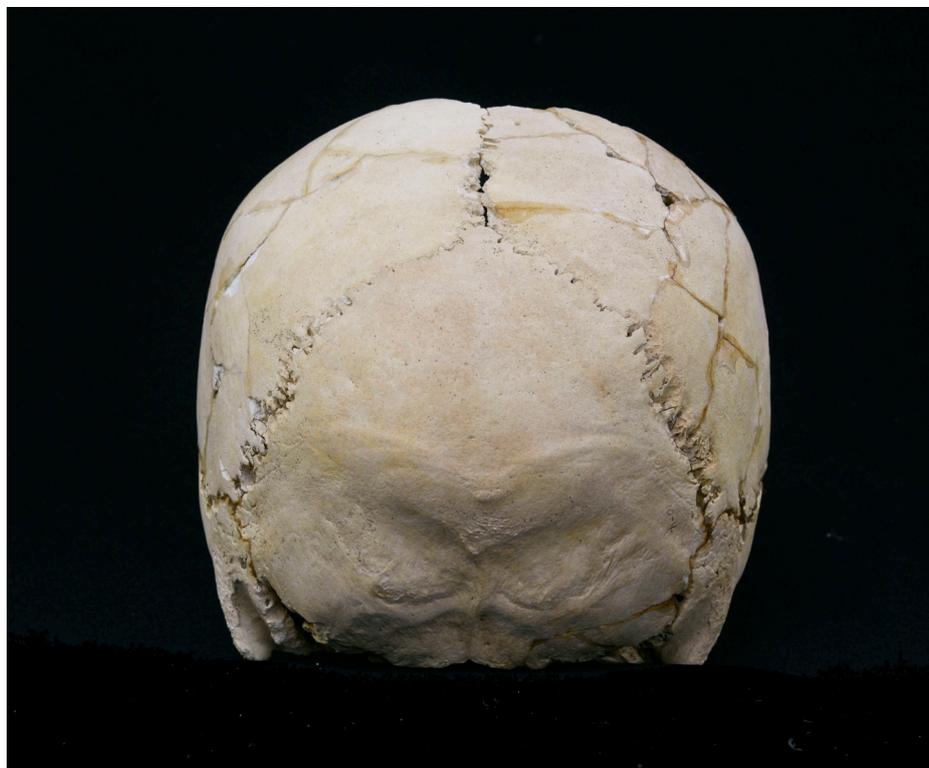
	86-FE-1	
	男	
Pearsonの式		
上腕骨(右)	-	-
(左)	-	-
橈骨(右)	-	-
(左)	-	-
大腿骨(右)	154.25	-
(左)	-	-
脛骨(右)	-	-
(左)	-	-
藤井の式		
上腕骨(右)	-	-
(左)	-	-
橈骨(右)	-	-
(左)	-	-
大腿骨(右)	151.74	-
(左)	-	-
脛骨(右)	-	-
(左)	-	-



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 10-SK-1 (女性・壮年)

(The skull 10-SK-1 from the Yuigahamaminami sites, young adult female)



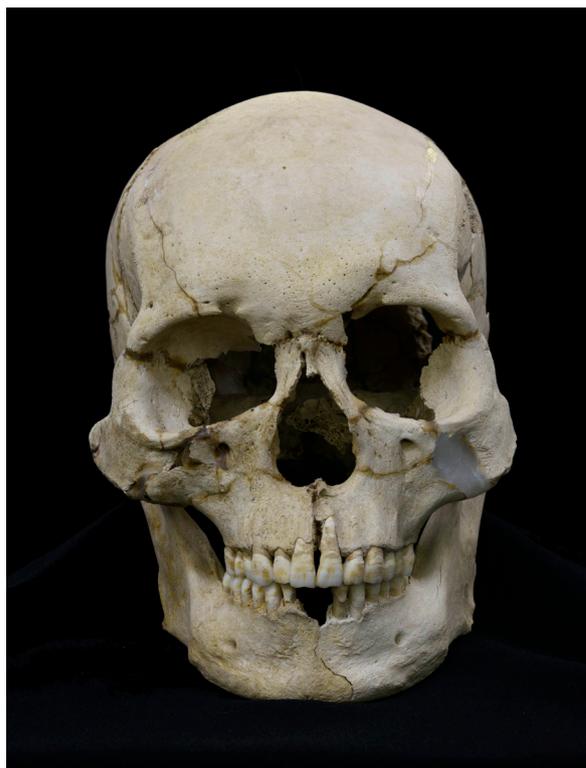
頭蓋後面 (Rear view of the skull)

由比ヶ浜南 10-SK-2 (女性・壮年)

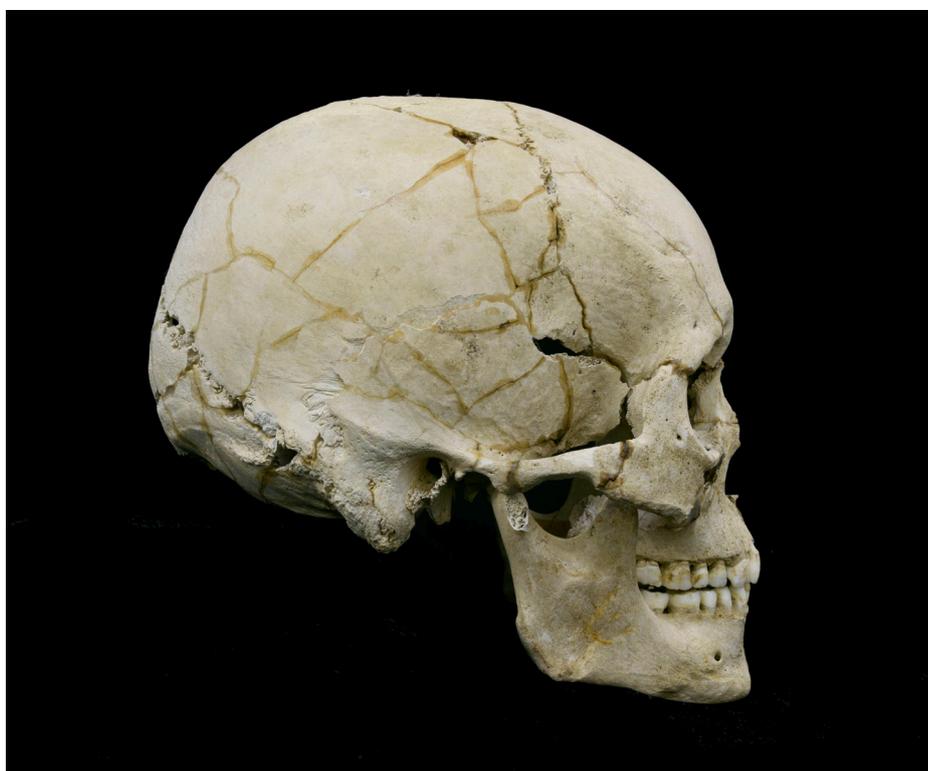
(The skull 10-SK-2 from the Yuigahamaminami sites, young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 10-SK-3 (男性・壮年)

(The skull 10-SK-3 from the Yuigahamaminami sites, young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



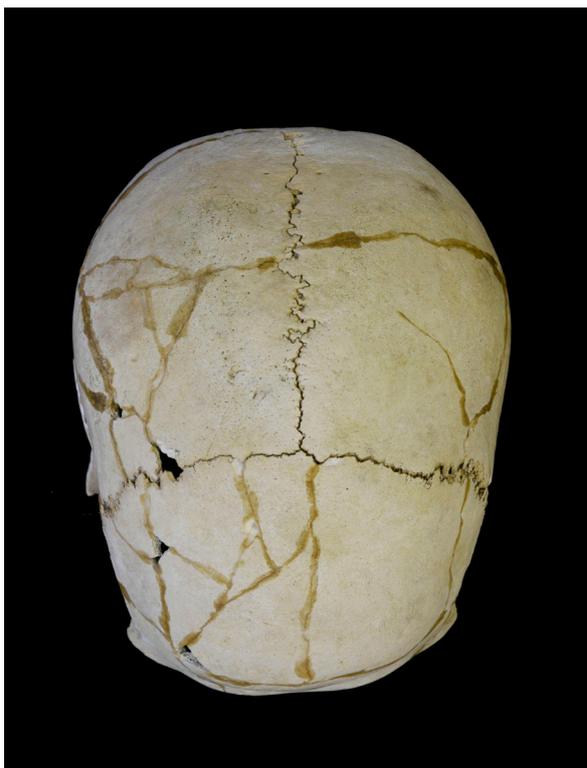
頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 10-SK-4 (女性・壮年)

(The skull 10-SK-4 from the Yuigahamaminami sites, young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 10-SK-5 (男性・壮年)

(The skull 10-SK-5 from the Yuigahamaminami sites, young adult male)



右側脛骨 (The right tibia)

由比ヶ浜南 10-TB-1 (男性・年齢不明)

(The tibia 10-TB-1 from the Yuigahaminami sites, male unknown age)



左側上腕骨 (The left humerus)

由比ヶ浜南 10-HU-1 (幼児)

(The humerus 10-HU-1 from the Yuigahaminami sites, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-1 (男性・熟年)

(The skull 14-SK-1 from the Yuigahamaminami sites,mature male)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



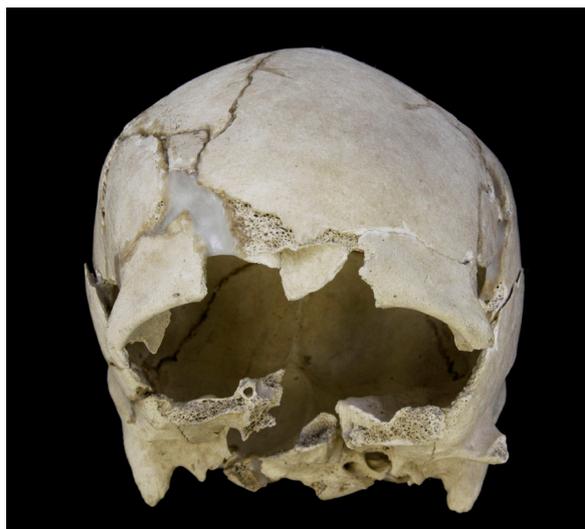
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-2 (小児・13 歳前後)

(The skull 14-SK-2 from the Yuigahamaminami sites, juvenile)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



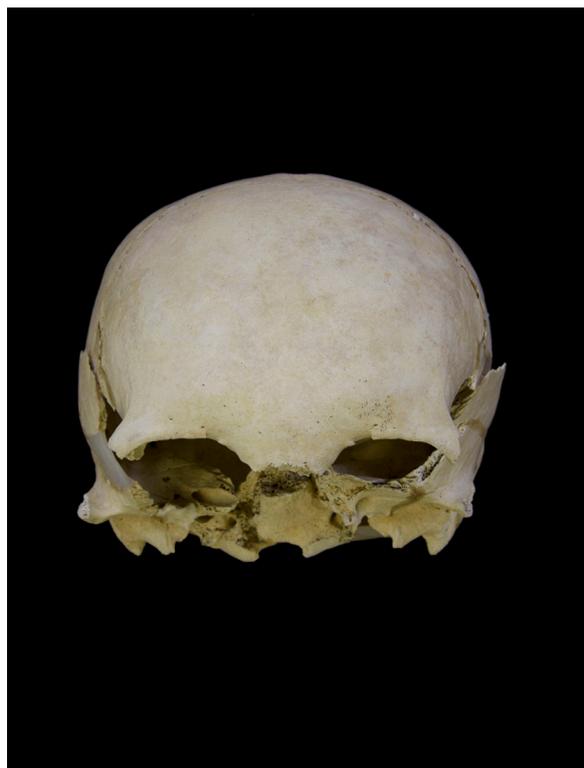
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-3 (男性・壮年)

(The skull 14-SK-3 from the Yuigahamaminami sites, young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-4 (女性・壮年)

(The skull 14-SK-4 from the Yuigahamaminami sites, young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-5 (男性・熟年)

(The skull 14-SK-5 from the Yuigahamaminami sites,mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-6 (男性・熟年)

(The skull 14-SK-6 from the Yuigahamaminami sites,mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-10 (幼児)

(The skull 14-SK-10 from the Yuigahamaminami sites, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-11 (男性・成年)

(The skull 14-SK-11 from the Yuigahamaminami sites, adolescent male)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-7-1 (女性・壮年)

(The skull 14-SK-7 from the Yuigahamaminami sites, young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-12 (女性・熟年)

(The skull 14-SK-12 from the Yuigahamaminami sites,mature female)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 14-SK-12 (女性・熟年)

(The skull14-SK-12 from the Yuigahamaminami sites,mature female)



骨盤 (The Pelvis)

由比ヶ浜南 14-CX-1 (男性)

(The coxa 14-CX-1 from the Yuigahamaminami sites, male)



左側寛骨 (The left coxa)

由比ヶ浜南 14-CX-2 (男性)

(The coxa 14-CX-2 from the Yuigahamaminami sites, male)



左側肩甲骨 (The left scapula)
由比ヶ浜南 14-SC-1 (男性)

(The scapula 14-SC-1 from the
Yuigahaminami sites,male)



左側大腿骨 (The left femur)
由比ヶ浜南 14-FE-1,2 (男性)

(The femur 14-FE-1,2 from the
Yuigahaminami sites,male)



右側脛骨 (The right tibia)
由比ヶ浜南 14-TB-1 (男性)

(The tibia 14-TB-1 from
the Yuigahaminami
sites,male)



左側橈骨 (The left radius)
由比ヶ浜南 14-RA-1 (男性)

(The radius 14-RAE-1
from the Yuigahaminami
sites,male)



右側頭頂骨 (The right parietal bone)
由比ヶ浜南 86-SK-2 (男性・壮年)
(The skull 86-SK-2 from the Yuigahamaminami sites, young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)
由比ヶ浜南 86-SK-3 (男性・壮年)
(The skull 86-SK-3 from the Yuigahamaminami sites, young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)
由比ヶ浜南 86-SK-4 (幼児)
(The skull 86-SK-4 from the Yuigahamaminami sites, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)
由比ヶ浜南 86-SK-5 (幼児・4 歳)
(The skull 86-SK-5 from the Yuigahamaminami sites, infant)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)
由比ヶ浜南 86-SK-6 (幼児・2 ～ 3 歳)
(The skull 86-SK-6 from the
Yuigahamaminami sites, infant)



後頭骨 (The occipital bone)
由比ヶ浜南 86-SK-7 (幼小児)
(The skull 86-SK-7 from the
Yuigahamaminami sites, infant)



右側大腿骨 (The right femur)
由比ヶ浜南 86-FE-1 (男性)
(The femur 86-FE-1 from the
Yuigahaminami sites,male)



右側大腿骨 受傷痕 (The right femur)
由比ヶ浜南 86-FE-2 (男性)
(The femur 86-FE-2 from the Yuigahaminami
sites,male)



右側大腿骨 (The right femur)
由比ヶ浜南 86-FE-3 (男性)
(The femur 86-FE-3 from the
Yuigahaminami sites, male)





大腿骨 (The femur)

由比ヶ浜南 86-FE-6 (女性)

(The femur 86-FE-6 from the

Yuigahaminami sites, female)



左側大腿骨 (The left femur)

由比ヶ浜南 86-FE-5 (女性)

(The femur 86-FE-5 from the

Yuigahaminami sites, female)



左側大腿骨 受傷痕 (The left femur)

由比ヶ浜南 86-FE-4 (男性)

(The femur 86-FE-4 from the Yuigahaminami sites, male)



左側尺骨 (The left ulna)
由比ヶ浜南 86-UL-1 (男性)
(The ulna 86-UL-1 from the
Yuigahaminami sites, male)



右側橈骨 (The right radius)
由比ヶ浜南 86-RA-1 (女性)
(The radius 86-RA-1 from the
Yuigahaminami sites, female)



左側脛骨 (The left tibia)
由比ヶ浜南 86-TB-2 (男性)
(The tibia 86-TB-2 from the
Yuigahaminami sites, male)



右側脛骨 (The right tibia)
由比ヶ浜南 86-TB-1 (男性)
(The tibia 86TB-1 from the
Yuigahaminami sites, male)